原町田中央通り
WS
ニュース vol. 2

原町田中央通りの未来を考えよう

主催：町田市　協力：町田市中心市街地活性化協議会

（第２回ワークショップのテーマ）

原町田中央通りで「こんな風に過ごしたい」「こんなことが出来たら良いな」のアイデアを具体化する。

楽しく回遊できる「町田らしい商店街」の実現に向けて、中心市街地のメインストリートの一つである原町田中央通りを対象に、「通りでこんな風に過ごしたい」、「こんなことができたら良いな」などのアイデアを話し合い、みんなにとって良い通りの未来を描くために、2019 年 7 月 24 日（水）18:30～20:30　町田まちづくり公社第１・第２会議室にて、第２回ワークショップを開催しました。

第２回ワークショップの概要

将来の原町田中央通りの空間像を案として提示し、下記について話し合いました。

１．いろんな立場、場面で原町田中央通りでの過ごし方を考えましょう！

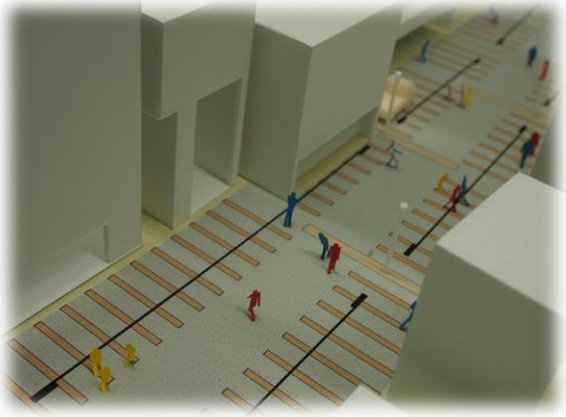
通りを訪れるいろんな人の立場、年齢層、時間帯や季節、日常と非日常等の場面の違いを考慮して、関わり方や過ごし方を想定し、通りや沿道空間の使われ方のイメージについてアイデア出し、意見交換を行いました。

２．無電柱化事業の概要を踏まえて、空間像を共有しましょう！

無電柱化事業の検討案を提示し、通りの幅員構成、地上機器や街路灯の配置案を確認し、通りでの過ごし方、使い方にあった形体や配置を考えました。

ワークショップの様子

通りの模型を囲んだ議論の様子



模型による通りの将来イメージ検討

Ａグループ

Ｂグループ

Ｃグループ

グループワークのまとめ

景観

・沿道の建物の外壁の色や、看板の色や大きさ等統一できると良い
・無電柱化され、夕日が見えるなど景観のスポットが出来ると良い
・原町田大通りにモノレールが通る様子がかっこよく見えたら良い
・ごちゃごちゃした景観も魅力、目指す景観像や、他と差別化を図る町田らしさ、通りの個性が必要
・夜の景観を考慮した照明
・フットライトなどデザイン的に良いものにしたい

滞留空間

・休憩や、ちょっとパソコンで作業ができるベンチ
・噴水やせせらぎ、ミストなど
・木陰、タープやパラソル等の日除け（領域性の役割もあり）
・街路樹は日照や維持管理を考慮して、樹種の選定も大事
・樹木に限らず草花でもよい
・食事ができるテーブル・椅子
・テーブルなどを出し入れする担い手がいない、恒常的なベンチの設置は、治安の悪化が心配

イベント

・昔は通り全体を使ったパレードがあって盛り上がった
・お祭りのときは神輿が通って盛り上がる、出店があると良い
・大道芸のようなものがあると、素通りするだけでなく新しい発見がある
・子ども達が路上にお絵描きできるイベント
・屋台やワゴンなどでクラフト等の物品販売ができれば良い
・キッチンカーや芝生広場

沿道利用

・歩道をデッキにしても良いのでは
・店を構えるのはハードルが高くてもワゴンで食べものや飲み物を売れたらよい
・ルールが曖昧で、どのように使った良いかわからない、活用したいと思うが結局看板の置き場になってしまっている、全体でどのように使っていくかルールがあると良い
・沿道店舗の工夫（居酒屋スペースの昼間活用、授乳室やおむつ替えスペース、トイレの開放等）

街路空間

・地上機器を活用して案内地図や QR コードでまちの歴史や情報を発信できると良い
・現状の地上機器は気にならない
・地上機器が店の前に設置されるのは避けたい、歩車道境界や建物内、屋上等に置けると良い
・道路線形を真っ直ぐでなく、スラローム型にできないか
・車道幅員を狭める場合、お神輿が通れるように
・現状の街路灯の数は多すぎる

車の通し方

・安心して歩ける通りにするため車の通し方を考え直すべき
・ぽっぽ町田だけでは荷捌きスペースとして不十分
・搬入を早朝に限定するなど歩行者専用道路に近い道路を目指したい
・脇道からの車の進入がある
・車道幅員を狭めて歩道を設けるのは歩行者には良いが、車が搬入車両の横を通れない
・荷捌きスペースの位置が課題

次回の予定

第３回（次回）ワークショップでは、第２回のワークショップの結果から、課題を整理すると共に、原町田中央通りでの過ごし方や使い方を具体化し、通りの空間像に反映し、共有を図る予定です。

第３回：9 月 26 日（木）
第４回：10 月 28 日（月）
第５回：1 月 28 日（火）

※各回 18:30 から町田まちづくり公社第１・第２地下会議室で行う予定です。３回目以降からのご参加も可能ですので、下記までお問い合わせください。

＜お問い合わせ＞ 町田市地区街づくり課 **042-724-4266 メール：mcity4090@city.machida.tokyo.jp**